

	4	3	2	1	自己評価
同志社大学図書館の特徴を知り、活用する	3に加えて、同志社大学の図書館の仕組みや概要を理解し、必要な図書を最大限借りたり、図書館ウェブサイトから有用な情報を得ることができる。	2に加えて、今出川図書館以外にラーネット記念図書館、同志社女子大学の今出川図書館と京田辺図書館も実際に利用できる。	1に加えて、図書館ウェブサイトを知っており、開館日や開館時間などの情報を得るのに活用できる。	図書館で入館、貸出・返却などの手続きを行うことができる。	
資料の探し方が分かる DOORSの利用方法と配架場所を理解する	3に加えて、分類を使用した検索やリテラル検索など詳細検索やタブ切替を使用した検索ができる。本棚で分類記号に基づいて必要な図書をブラウジング（本棚を見て拾い読みしながら、関連する似たテーマの図書を探す）することができる。	2に加えて、各種配置場所の特徴を理解し、様々な場所に配置されている資料を利用することができる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで検索し、DOORSの検索結果が示す内容を理解し、「所蔵館」「配置場所」「請求記号」を正しく理解した上で実際に必要な図書を見つけることができる。	DOORS(本学蔵書タブ)を使って同志社大学が所蔵している資料を検索できることがわかる。	
雑誌記事の探し方が分かる CiNii ResearchとDOORSを使って雑誌記事を探す	3に加えて、CiNii Research検索結果のリンク機能を活用でき、DOORSへの連携機能を活用したり、オープンアクセスを利用して実際に必要な記事や論文をWeb上で読むことができる。	2に加えて、特定した文献情報からDOORSを検索し、所蔵の有無を確認することができる。	1に加えて、CiNii Researchを使って自ら設定したキーワードで検索し、オープンアクセスの記事を探したり、検索結果から文献情報(「雑誌名」「巻号」「ページ」「発行年月日」)を読み解いて必要な雑誌を特定することができる。	DOORS(本学蔵書タブ)では、掲載雑誌のタイトルで検索することはできるが、雑誌記事や論文タイトルでは検索できないことがわかる。	
便利な検索システムを使う DOGS Plus	3に加えて、検索結果のリンク機能を活用でき、Article Linkerを使って実際に必要な情報を得たり、記事や論文をWeb上で読むことができる。また、このデータベースでは探せない範囲があることも理解した上で利用できる。	2に加えて、DOGS Plusの特徴を知った上で、ファセットを使って必要な情報を絞り込むことができる。	1に加えて、自ら調べたい内容について、DOGS Plusを使って検索し、情報を得ることができる。	DOGS Plusは世界中のあらゆる学術情報をGoogleのように探せる検索システムであることがわかる。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
同志社大学図書館の特徴を知り、活用する	図書館の概要
資料の探し方が分かる DOORSの利用方法と配架場所を理解する	資料の探し方 DOORS応用編
雑誌記事の探し方が分かる CiNii ResearchとDOORSを使って雑誌記事を探す	雑誌記事の探し方
便利な検索システムを使う DOGS Plus	便利な検索システム DOGS Plus
確認テスト	講習内容check! 確認テスト

「各種資料の探し方 ～基本編～ 百科事典の活用法」

	4	3	2	1	自己評価
百科事典の特徴を知り、活用する	3に加えて、複数の内容を整理して理解を深め、評価、統合し、課題に活用することができる。また、自らの課題に基づいて、冊子体の百科事典の索引からも引くことができる。	2に加えて、複数の百科事典を引き比べ、内容の差を確認して理解を深めることができる。	1に加えて、冊子以外にデータベースが使えることを知っており、多種の百科事典があることがわかる。また、データベースも冊子体もそれぞれ使って目的の情報を得ることができる。	百科事典は課題に取りかかる際に事柄の理解を深めるのに有用であることがわかる。	
百科事典のデータベースを使う① ブリタニカ・オンライン・ジャパン	3に加えて、自らの課題に関連するキーワードを検索した結果から、さらにリンクをたどって関連項目の理解を深めたり、英語の百科事典としても活用することができる。	2に加えて、多岐に渡る項目や、簡潔に知りたい事柄については小項目事典、一般的な項目についてより詳細に知りたいときには大項目事典というように使い分けすることができる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで検索することができる。	ブリタニカ・オンライン・ジャパンの検索例を見ながらそのとおりに入力して検索結果を表示させることができる。	
百科事典のデータベースを使う② JapanKnowledge Lib	3に加えて、全文を対象とした検索や詳細検索などの検索機能、各種リンクを活用することで幅広く情報収集することができる。	2に加えて、どのような出典からの情報が得られているか評価することができ、百科事典以外のコンテンツも検索できることを理解し、適宜活用することができる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで検索することができる。	JapanKnowledge Lib の検索例を見ながらそのとおりに入力して検索結果を表示させることができる。	
百科事典のデータベースを使う③ その他の辞典・事典データベース	3に加えて、調べて得た情報を活かして、Web上の情報を批判的に見ることができ、両方の情報を使って自らの課題に活かすことができる。	2に加えて、辞典・事典を調べるためのデータベースが複数あることがわかり、各データベースの特徴を知った上で、課題に基づいて使いこなして理解を深めることができる。	1に加えて、自ら調べたい内容について、理科年表プレミアムを使って情報を得ることができる。	理科年表プレミアムの検索例を見ながらそのとおりに入力して検索結果を表示させることができる。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
百科事典の特徴を知り、活用する	「百科事典」とは？
百科事典のデータベースを使う① ブリタニカ・オンライン・ジャパン	ブリタニカ・オンライン・ジャパンを使ってみよう
百科事典のデータベースを使う② JapanKnowledge Lib	JapanKnowledge Libを使ってみよう
百科事典のデータベースを使う③ その他の辞典・事典データベース	そのほかのデータベースを使ってみよう

	4	3	2	1	自己評価
図書の特徴を知り、活用する	3に加えて、複数の図書を読み、内容を整理して理解を深め、評価、統合し、課題に活用することができる。また、自らの課題のみならず、テーマに関連する図書を読み、より理解を深めることができる。	2に加えて、自分の課題について、理解度を把握し、目的に応じた適切な図書を選ぶことができる。	1に加えて、基本図書や専門書などの種類があることを知っており、自分の知りたいテーマやその度合いを把握し、目的の情報を得る必要があることがわかる。	図書はあるテーマに沿ってまとめられており、調べたい事柄についてより理解を深めるのに有用であることがわかる。	
同志社大学の学術情報検索システムDOORSを使う	3に加えて、検索結果から冊子体のほかに、電子ブックも使うことができる。また、分類表を活用し、本棚で分類記号に基づいて必要な図書をブラウジング（本棚を見て拾い読みしながら、関連する似たテーマの図書を探す）することができる。	2に加えて、詳細検索の項目を駆使して目的の図書を探すことができる。また、DOORSを活用して、書誌事項から関連する図書を探すことができる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで検索し、DOORSの検索結果が示す内容を理解し、実際に必要な図書を見つけることができる。	DOORS（本学蔵書タブ）を使って同志社大学が所蔵している資料を検索できることがわかる。	
同志社大学にない図書について情報を得る	3に加えて、必要に応じて他大学を含めた広い範囲で図書を探すことができ、適切な利用方法を選択することができる。	2に加えて、必要に応じて他大学のOPAC（蔵書検索システム）を使って検索ができ、レファレンスでスムーズに他大学への閲覧申し込みができる。また、Webを使って借用依頼や複写依頼ができ、幅広い調査ができる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで他大学の所蔵を検索することができる。また、他大学への訪問閲覧以外に、借用依頼や複写依頼ができることがわかる。	他大学所蔵資料を検索できることがわかる。	
図書の情報を得るためのデータベースを使う	3に加えて、データベースを使って幅広い情報検索ができ、著者略歴や目次あらずし情報を活用して、必要な図書を取捨選択して探すことができる。また、得た情報を使って自らの課題に活かすことができる。	2に加えて、データベースでできることとDOORSでできることの違いがわかり、特徴を知った上で両方を使いわけることができる。	1に加えて、自ら調べたい内容について、BookPlusを使って情報を得ることができる。	BookPlusの検索例を見ながらそのとおり入力して検索結果を表示させることができる。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
図書の特徴を知り、活用する	「図書」とは？
同志社大学の学術情報検索システムDOORSを使う	DOORSを使って探そう
同志社大学にない図書について情報を得る	DOORSの「本学蔵書」タブで見つからないときは？
図書の情報を得るためのデータベースを使う	データベースを活用しよう！

	4	3	2	1	
雑誌の特徴を知り、活用する	3に加えて、学術雑誌を探すためのデータベースと一般雑誌を探すためのデータベースを知っており、目的によって使い分け、評価、統合し、課題に活用することができる。	2に加えて、学術雑誌と週刊誌や月刊誌などの違いを理解し、目的によって使い分けすることができる。	1に加えて、図書に比べて速報性が高く、Webや新聞に比べて情報量が多く信頼性も高いことを知り、目的によってどこから情報を得るかを選択できる。	雑誌は短い周期で継続的に刊行されており、一冊に複数の記事が収められているという特徴がわかる。	
雑誌記事・論文を探す手順およびデータベースの特徴を知る	3に加えて、CiNii ResearchとMagazinePlusの特徴の違いについて理解している。また、雑誌記事・論文を探す手順を熟知しており、的確に探して課題に活かすことができる。	2に加えて、文献情報を読み解いて、必要な雑誌を特定して探すことができる。また、文献情報が特定できていないときは、まず雑誌記事を検索するためのデータベースを使うことがわかる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで検索し、実際に必要な雑誌を見つけることができる。また、読みたい雑誌が特定できている場合と、読みたい記事やテーマが決まっていない場合の検索手順の違いが分かる。	DOORS(本学蔵書タブ)では、雑誌記事や論文タイトルではなく、掲載雑誌のタイトルで検索することがわかる。	
文献情報を入手する CiNii Research	3に加えて、検索結果のリンク機能を活用でき、他機関のリポジトリのほか、Article Linkerを使って実際に必要な記事や論文をWeb上で読むことができる。また、データベースでは探せない範囲も把握した上で利用できる。	2に加えて、検索結果から関連したキーワードを使って検索範囲を広げたり、不要な条件を除いた検索値を設定して必要な記事のみを検索したりできる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで検索し、オープンアクセスの記事を探したり、検索結果から文献情報を読み解いて必要な雑誌を特定することができる。	雑誌記事・論文のデータベースCiNii Researchの検索例を見ながら、そのとおり入力して検索結果を表示させることができる。	
文献情報からDOORSで所蔵を確認する	3に加えて、DOORSを使つて的確な情報検索ができ、データベースと併用して活用することができる。また、得た情報を使って自らの課題に活かすことができる。	2に加えて、検索結果を表示したとき、電子資料のリンク先などが出た際にはそれを活用し、探したい雑誌記事・論文をWeb上で見るることができる。	1に加えて、DOORSを使って自ら調べたい雑誌記事・論文の掲載雑誌について情報を得て、手にとることができる。また、検索結果を有効に絞り込むために、「データ種別」や「#(完全一致検索)」が使える。	DOORS(本学蔵書タブ)で雑誌を検索することができる。	
他大学・他機関にある資料の利用方法を知る	3に加えて、必要に応じて他大学を含めた広い範囲で図書を探すことができ、適切な利用方法を選択することができる。	2に加えて、必要に応じて他大学のOPAC(蔵書検索システム)を使って検索ができ、レファレンスカウンターで他大学への閲覧申し込みができる。また、Webを使って借用依頼や複写依頼ができ、幅広い調査ができる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで他大学の所蔵を検索することができる。また、他大学への訪問閲覧以外に、借用依頼や複写依頼ができることがわかる。	他大学所蔵資料を検索できることを知る。	
データベースを使い分ける 大宅社一文庫雑誌記事索引検索	3に加えて、適切な検索ツールを使って、必要な雑誌記事・論文が同志社大学またはWeb上で得られるかを正しく把握し、調査によって使い分けたり、先行研究を読んで自らの課題に活かすことができる。	2に加えて、明治期の記事も検索したい場合は、雑誌記事索引集成データベース、自然科学系の分野を検索したい場合はJDreamⅢ、医療系の場合はメディカルオンラインが有効であることがわかる。	1に加えて、自ら調べたい記事について、大宅社一文庫雑誌記事索引検索を使って雑誌記事・論文の掲載雑誌の情報を得ることができる。	大宅社一文庫雑誌記事索引検索の検索例を見ながらそのとおり入力して検索結果を表示させることができる。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
雑誌の特徴を知り、活用する	「雑誌」とは？
雑誌記事・論文を探す手順およびデータベースの特徴を知る	雑誌記事・論文を探す手順
文献情報を入手する CiNii Research	CiNii Researchで文献情報を入手しよう
文献情報からDOORSで所蔵を確認する	文献情報からDOORSで所蔵を確認しよう
他大学・他機関にある資料の利用方法を知る	他大学・他機関にある資料の利用方法を知らう
データベースを使い分ける 大宅社一文庫雑誌記事索引検索	データベースを使い分けよう

	4	3	2	1	自己評価
新聞の特徴を知り、活用する	3に加えて、新聞のインターネット版の特徴がわかり、適切に利用することができる。また、複数の新聞を読み、内容を整理して理解を深め、評価、統合し、課題に活用することができる。	2に加えて、図書館で利用できる新聞記事の形態(原紙、縮刷版、マイクロフィルム、データベース)と特徴がわかり、自分の調べたい内容、範囲に基づいて、目的に応じた適切な媒体を選ぶことができる。	1に加えて、事実関係の確認や時系列での調査に有用であることを知っており、自分の知りたいテーマについて、目的の新聞記事を見るための手段を選択できる。	新聞は短時間で編集・校正を行うため、速報性に優れており、時事の情報を知るのに有用であることがわかる。	
新聞記事のデータベースを活用する	3に加えて、各種データベース元の新聞の違いについて自分なりに理解し、読み比べた上で自分の意見を持ち、課題に活かすことができる。また、テキスト情報以外に写真や広告の情報も活かすことができる。	2に加えて、検索結果から関連したキーワードを使って検索範囲を広げ、他の記事も確認することができる。また、必要に応じて昔の新聞の記事検索ができる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで検索し、実際に必要な記事を見つけることができる。また、全国紙の地方版と地方新聞(地方紙)の違いが分かる。	各新聞データベースの検索例を見ながらそのとおり入力して検索結果を表示させることができる。	
冊子体を活用する	3に加えて、冊子体を使って幅広い情報検索ができ、データベースと併用して活用することができる。また、得た情報を使って自らの課題に活かすことができる。	2に加えて、『月刊新聞ダイジェスト』を使って特定のテーマで新聞を調べたいときに役立てることができる。	1に加えて、『大正ニュース事典』『新聞集成大正編年史』を使って自ら調べたい記事について情報を得ることができる。	『大正ニュース事典』『新聞集成大正編年史』を実際に手にとって記事を見ることができる。	
同志社大学にない新聞記事の利用方法	3に加えて、資料を入手するために必要な時間や経費を考慮し、計画的に課題に取り組むことができる。	2に加えて、コピーの取寄せはDOORSで申込むことができることを知っている。	1に加えて、所蔵館からのコピーの取寄せや、所蔵館へ直接閲覧に行くという手段があることを知っている。	必要な記事が同志社大学で閲覧できない場合に、レファレンスカウンターへ相談することができる。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
新聞の特徴を知り、活用する	新聞を読もう！
新聞記事のデータベースを活用する	新聞データベースの活用
冊子体を活用する	冊子体の重要性
同志社大学にない新聞記事の利用方法	同志社大学で新聞記事が見つからないときは？

	4	3	2	1	自己評価
英語の新聞の特徴を知り、活用する	3に加えて、英語の新聞のインターネット版の特徴がわかり、適切に利用することができる。また、複数の新聞を読み、内容を整理して理解を深め、評価、統合し、課題に活用することができる。	2に加えて、図書館で利用できる英語の新聞の原紙および他の形態(縮刷版、マイクロフィルム、データベース)がわかり、自分の調べたい内容、範囲に基づいて、目的に応じた適切な媒体を選ぶことができる。	1に加えて、英語の新聞は、英字新聞(日本国内で発行)と海外紙(外国で発行)の2つに大きく分けられるということがわかる。	同じ事柄でも、新聞によって報じ方が異なるということがわかる。	
新聞記事のデータベースを活用する	3に加えて、冊子体を使って幅広い情報検索ができ、データベースと併用して活用することができる。また、得た情報を使って自らの課題に活かすことができる。	2に加えて、検索結果から関連したキーワードを使って検索範囲を広げ、他の記事も確認することができる。また、必要に応じて昔の新聞の記事検索ができる。	1に加えて、自ら設定したキーワードで検索し、実際に必要な記事を見つけることができる。	英字新聞と海外紙について、各データベースの検索例を見ながらそのとおり入力して検索結果を表示させることができる。	
英語以外の外国語新聞を活用する	3に加えて、複数の新聞を読み、内容を整理して理解を深め、評価、統合し、課題に活用することができる。	2に加えて、各データベースで検索できる外国語の新聞の収録内容がわかり、自分の調べたい内容、範囲に基づいて、目的に応じた適切なデータベースを選ぶことができる。	1に加えて、英語以外の外国語新聞について、各データベースの検索例を見ながらそのとおり入力して検索結果を表示させることができる。	図書館で利用できる英語以外の外国語新聞の原紙がわかり、実際に手にとって記事を見ることことができる。	
同志社大学にない新聞記事の利用方法	3に加えて、資料を入手するために必要な時間や経費を考慮し、計画的に課題に取り組むことができる。	2に加えて、コピーの取寄せはDOORSで申込むことができることを知っている。	1に加えて、所蔵館からのコピーの取寄せや、所蔵館へ直接閲覧に行くという手段があることを知っている。	必要な記事が同志社大学で閲覧できない場合に、レファレンスカウンターへ相談することができる。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
新聞の特徴を知り、活用する	英語の新聞を読もう(英字新聞・海外紙)
新聞記事のデータベースを活用する	新聞データベースの活用 データベース利用の実例 新聞を使い分ける
英語以外の外国語新聞を活用する	英語以外の外国語新聞
同志社大学にない新聞記事の利用方法	同志社大学で新聞記事が見つからないときは？

	4	3	2	1	自己評価
テーマ設定と発想について	3に加え、テーマをまとめる際に、他者の見解と自分の見解を区別することができる。	2に加え、発想のプロセスが進むにつれ、テーマが変化し、絞られていくこと、また場合によっては変更する場合もあることを理解している。	1に加え、興味・関心をもつテーマと関連キーワードを複数挙げるのが有効であり、そのためのツールがあることを知っている。	レポート・論文作成におけるテーマ設定の必要性を理解している。	
テーマ設定のための資料収集について	3に加え、各資料の種類、特性によって効率よく収集することができる。	2に加え、各種資料の収集の方法を知っている。	1に加え、資料の種類と特性を理解している。	テーマ理解と論拠のために資料収集が必要だと理解している。	
レポート・論文執筆のために必要な知識について	3に加え、スケジュール管理をして、論文作法に則ったレポート・論文を完成させ提出できる。	2に加え、適切に引用を行うことができ、文献管理ツールを活用して効率的に参考文献の管理ができる。	1に加え、論文の書式についての知識を習得している。	論文執筆、提出にルールがあることを理解している。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
テーマ設定と発想について	テーマ設定のパターン 発想のプロセス
テーマ設定のための資料収集について	テーマ設定のための情報収集
レポート・論文執筆のために必要な知識について	レポートを書く準備 文献管理ツールRefWorksの紹介

	4	3	2	1	自己評価
洋文献探索の手順を知り、活用する	3に加えて、テーマのみが決定している場合に、文献探索の手順に従ってデータベースを検索し、読みたい文献情報の入手と所蔵調査ができる。	2に加えて、文献情報が不十分な場合に、文献探索の手順に従ってデータベースを検索し、不足している文献情報を補完することができる。	1に加えて、文献情報が入手できている場合に、文献探索の手順に従って所蔵調査ができる。	探索手順のどの段階にいるのかわかる。	
洋文献書誌の特徴と読み解き方を知り、活用する	3に加えて、略誌名と検索演算子を組み合わせ、データベースで洋文献を探ることができる。	2に加えて、冊子体資料やデータベースを使って、略誌名から完全誌名を調べることができる。	1に加えて、洋文献の書誌を読み解いて、著者、書名、出版事項等を把握することができる。	洋文献の書誌について、様々なルールやスタイルがあるとわかる。	
洋文献の入手方法を知り、活用する	3に加えて、各データベースを使って海外の所蔵機関の有無を確認し、適宜利用手続きをとることができる。	2に加えて、各データベースを使って国内の所蔵機関の有無を確認し、適宜利用手続きをとることができる。	1に加えて、DOGS Plusや各データベースを使って、探している洋文献について、電子資料の入手可否を確認することができる。	文献情報を元に、DOORS(本学蔵書タブ)の詳細検索を使って学内の所蔵の有無を確認することができる。	
海外データベースを活用する	3に加えて、海外データベースの特徴を理解し、的確に使い分けることで効率的な情報収集ができる。	2に加えて、海外データベースを使って、人物情報や企業情報なども入手することができる。	1に加えて、海外データベースを使って、探している洋文献について、書誌情報や電子資料の入手可否を確認することができる。	洋文献について、検索できる海外データベースがあることがわかる。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
洋文献探索の手順を知り、活用する	洋文献探索の手順
洋文献書誌の特徴と読み解き方を知り、活用する	洋文献書誌の特徴と読み解き方
洋文献の入手方法を知り、活用する	洋文献入手の方法
海外データベースを活用する	海外データベースを使ってみよう



	4	3	2	1	自己評価
法律学情報の種類と特徴を知る	3に加えて、各種の資料を相互に参照し、多様な情報を入手することができる。	2に加えて、法令・判例・文献は相互に関連しており、相互参照が必要となることを理解している。	1に加えて、調べたい内容に応じて使い分けが必要であると知っている。	法律学情報には、法令・判例・文献があることを知っている。	
判例を探す	3に加えて、各データベース・冊子体資料の特徴や使用方法を理解して、適切なツールを使用し、判例を探すことができる。	2に加えて、LEX/DBを使って自分の欲しい情報を探すことができる。また、検索結果の情報を読み解き、判例評釈情報や関連する法令を探すことができる。	1に加えて、公的な判例集と、それ以外の判例集・判例雑誌の区別ができる。	判例とは何かを知っている。	
法令を探す	3に加えて、各データベース・冊子体資料の特徴や使用方法を理解して、適切なツールを使用し、法令を探すことができる。	2に加えて、e-Gov法令検索を使って現行法令を探すことができる。また、日本法令索引を使って、国会での審議過程や法令の改正過程、廃止法令を調べることができる。	1に加えて、公的な法令集と、それ以外の法令集(六法など)の区別ができる。	法令とは何かを知っている。	
文献を探す	3に加えて、複数の資料を読み、内容を整理して理解を深め、評価、統合し、課題に活用することができる。	2に加えて、データベースを使って文献を検索し、入手できる。	1に加えて、代表的な文献(辞典・コンメンタール・判例評釈など)について理解し、必要な資料を適切に選択できる。	法律学における文献とは何かを知っている。	
外国(アメリカ)法資料を探す	3に加えて、データベースを使って自分の欲しい情報を探すことができる。	2に加えて、欲しい情報が掲載されている資料を探すことができる。	1に加えて、外国(アメリカ)の判例集・法令集にどのようなものがあるかを知っている。	「判例法主義」と「制定法主義」について理解している。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
法律学情報の種類と特徴を知る	法律学情報の基礎知識
判例を探す	法律学情報の種類と探し方
法令を探す	法律学情報の種類と探し方
文献を探す	法律学情報の種類と探し方
外国(アメリカ)法資料を探す	外国法情報の基礎知識 外国法律学情報を探す

	4	3	2	1	自己評価
自然科学文献の種類と性質の理解	3に加え、特許、規格の特徴について理解している。	2に加え、図書、会議資料、テクニカル・レポート、博士論文の特徴について理解している。	1に加え、雑誌論文の特徴や査読制度および論文の基本構造、参考文献の役割について理解している。	研究活動における情報収集の必要性と種類について理解している。また、自然科学文献にはインフォーマルコミュニケーションとフォーマルコミュニケーションがあること、およびその特徴を理解している。	
文献を探すスキル ①ツールの選択、入手	3に加え、国立国会図書館のリサーチ・ナビを活用し、自身のテーマについて網羅的に情報を入手することができる。また、Web上の情報について、情報源(出版社、著者、研究機関)から信頼性の高い情報を判断することができる。	2に加え、JDreamⅢ以外にも自身のテーマについて適切なデータベースを選択することができる。また、複数のツールを使って文献を探すことができる。また、所蔵機関を確認し、適宜、利用手続きをとることができる。	1に加え、JDreamⅢを使って、自身のテーマについての文献を探すことができる。検索結果から、Article Linkerを利用して学内の所蔵を確認し、学内に所蔵のある文献を入手することができる。	文献の書誌情報を元に、DOORSや電子ジャーナル・電子ブック検索を使って、学内の所蔵の有無を確認することができる。	
文献を探すスキル ②検索スキルの習得	3に加え、各データベースの様々な機能や検索結果からノイズや漏れなどを検討し、検索条件を工夫して、必要な情報を得ることができる。	2に加え、使用するデータベースの統制語を活用し、的確なキーワードを選ぶことができる。また、文献の種類や発行年など、適宜、検索範囲を広げたり絞り込んだりすることができる。	専門用語をキーワードにして検索する必要性を認識し、辞書や事典、シソーラスを用いて、同義語や関連語などを調査した上でキーワードを決定している。	文献検索において、自身のテーマについて自らの知識の範囲内でキーワードを考え検索することができる。	

■達成レベルが低かったものについては、該当するe-learningの小見出し部分をもう一度やってみましょう。

達成項目	e-learningで該当する小見出し
自然科学文献の種類と性質の理解	情報収集の意義 自然科学文献の種類
文献を探すスキル ①ツールの選択、入手	国立国会図書館のサービス 文献の探し方 文献の入手方法
文献を探すスキル ②検索スキルの習得	文献の探し方